



境港市観光協会会長・梶田知身ますだともみ

鳥取市長 竹内 功

連携

鳥取砂丘と 水木しげるロード

境港市観光協会・梶田知身会長と竹内市長の対談が、10月29日（金）、境港市の夢みなとタワーで行われました。梶田会長は、平成16年から会長に就任されていますが、漫画家・水木しげるさんの生誕地である境港市は、平成5年に「水木しげるロード」をオープン。今年の10月には来訪者が300万人を突破しました。一方、鳥取砂丘では、昨年、約200万人の観光客が来訪。両市が、今後より一層連携し、PRし合うことで、鳥取県に多くの観光客を呼び込むことを再認識しました。

問い合わせ先 市役所第三庁舎観光コンベンション推進課 ☎0859-71-2032 ☖

連携しお互いのPRを

竹内市長 水木しげるロードは300万人を超えるお客様をお迎えするという大変な成功を収めていらつしゃいます。鳥取市では、鳥取砂丘をはじめとする山陰海岸ジオパークが世界に認められ、昨年は砂丘に約200万人の観光客を迎えています。ですが、これからも多くのお客様にお越しいただくためには、水木しげるロードと連携していく必要があると考えています。

鳥取市では、「砂の美術館」第2期展示の開館の際にねずみ男に来ていただいたり、JR鳥取駅構内にある鬼太郎商店がにぎわったりしています。また、今年の

夏は、兵庫県立美術館に目玉おやじの砂像を作って展示しました。ぜひお願いしたいのは、水木しげるロードの中に鳥取砂丘、山陰海岸ジオパーク、さらには砂の美術館を紹介するような場所を設置させていただき、新たな観光情報の発信拠点としたいと考えております。

砂の美術館では、クリスマスアートプロジェクトとして、砂像に光のペールをあて造形的な美しさを際立たせるD・K L I V Eを12月11日から始まる「鳥取砂丘イリュージョンⅧ」の時期に行います。水木しげるロードに来られた方にもぜひ見ていただきたいですね。こうした連携を深めたいと思っておりますが、いか



榎田会長と水木しげるロードを歩きながら談笑する竹内市長

がでしょうか。

榎田会長 今年、水木しげるロードで境港の知名度はかなり高くなりましたが、基本的には鳥取砂丘の認知度は歴史的なものもあり、非常に高いですね。こちらとしても境港や水木しげるロードだけがよくなればよいとは考えておらず、砂丘と水木ロードは鳥取県観光地の両横綱であり、この対談を契機にもっと連携を深めていきたいと思っています。鳥取砂丘からこちらへ来られるお客様も多いし、その逆もあり、相互を訪ねてみたいというお客様も潜在的にあります。今後、具体的な企画を出していきたいと考えています。

外国人観光客の誘客を

竹内市長 境港市は、米子空港と境港で海外と繋がっており、外国人観光客のアクセスに優れています。外国人観光客が、これから砂丘にしても水木ロードにしても増えてくるのではないかと思います。外国人観光客などを対象とした、両方の観光地を楽しむことのできるバック旅行が作れないものでしょうか。

榎田会長 境港は空と海の窓口で、山陰で一番のゲートウェイとなっています。我が国ではビジット・ジャパン・キャンペーンとして、外国人観光客の誘客に取り組んでいます。まだまだ増やしていく必要があります。DBSクルーズが就航してから増加していますが、まだ不十分です。

境港だけでは海外からのお客様を十分楽しませることはできません。連携を視野に入れなければ、旅行ツアーのパッケージは作れません。これからも同じ鳥取県にある観光地として歩調を合わせてやっていかなければならないと痛感しています。

竹内市長 鳥取市では、外国人観光客への情報提供や通訳などをする国際観光客サポートセンターをこのたび発足しました。境港市では、外国人観光客へのもてなしについてはどのような状況ですか。

榎田会長 まだまだもてなしの向上というところまでいっていません。その前に、外国語表記の看板を増やすことが重要ですが、時間をかけて継続的にやっていかなければなりません。また、外国語のチラシやパンフレットもまだまだ不十分。砂丘などのポイントの観光地ではできていないが、境港はまだまだ進めなければならぬと感じています。外国人観光客への情報提供体制の全体の底上げを図っていかなければならないと考えています。

国際マンガサミットに向けて

竹内市長 国際マンガサミットが平成24年度に鳥取県で開催されます。今年、韓国で開催された国際マンガサミットでは、本市出身の谷口ジローさんが外国人作家賞を受賞されました。また、ヨーロッパ諸国でも高く評価され、多くの賞を受賞されています。鳥取のマンガ王国の

展示を来年7月からわらべ館で始めるよう、現在、準備を進めています。谷口ジローさん、水木しげるさん、青山剛昌さんを紹介・展示する予定です。これらもお互いの情報発信の連携の一つと位置づけ、全県でがんばりたいですね。

榎田会長 来年には、気運を盛り上げるプレイイベントをやりたいと考えています。青山剛昌さんは台湾にファンが非常に多いし、谷口ジローさんもフランスでの評価が高いと聞いていますので、水木しげる先生を合わせた3人の作家でイベントをやりたいですね。これらのイベントは、外国人観光客を呼び寄せる一つの大きなきっかけになるので、我々が一緒に成功させなければなりません。

鳥取空港の愛称化

竹内市長 榎田会長は、米子空港に愛称を付ける働きかけをされましたね。私は山陰海岸の世界ジオパーク加盟をきっかけに、鳥取空港に愛称募集をしてはどうかと提案しているところです。

榎田会長 米子鬼太郎空港の愛称化の実現には2年半くらいかかりました。砂丘は非常にネームバリューがあります。鳥取砂丘空港はわかりやすくいいですね。

竹内市長 本日はお忙しいところありがとうございます。お互いに連携を図りながら、鳥取県に多くの観光客を呼び込みましょう。